

# 2024年実践教育研究発表会(東京大会)

## 募集要領

実践教育研究発表会運営委員会  
<http://www.jissen.or.jp/>

1 会期 2024年 8月16日(金)～ 8月17日(土)

2 会場 職業能力開発総合大学校  
〒187-0035 東京都小平市小川西町2丁目32-1

3 趣旨

主に、職業能力開発に携わる者が実践的教育訓練に関する活動(教育訓練技法や教材開発等)の成果を発表し、情報交換や相互研鑽を図ることによって指導者としての資質の向上を支援し、もって職業能力開発分野の一層の発展に寄与することを目的とする。

4 大会テーマ

持続可能な未来へ ものづくり ひとつづくり

5 発表の種類

[1]一般講演

(1) 発表内容

発表内容は趣旨に合致するもので、次のようなジャンルの内容であること。

- ①実践教育訓練技法に関するもの
- ②実践教育訓練に使用する教材・教具などの開発に関するもの
- ③実践教育訓練の方法論に関するもの
- ④それぞれの専門分野における工学的基礎、技術的基礎とその応用に関するもの

(2) 講演時間と質疑時間

- ① 講演時間 10分
- ② 質疑時間 5分

[2]ポスターセッション

(1) 内容

開発・考案した具体的な教材や教具等

(2) 方法

- ① 実物およびパネル、ビデオ等を展示する。
- ② 展示をもとに発表(15分)、質疑を行う。

(3) 展示区画 展示用テーブル 1.8m(幅)×0.75m(奥)  
展示パネル A1サイズ2枚まで

6 募集要旨

[1]発表申し込み手続き

- (1) 申込資格：(一社)実践教育訓練学会の会員であること。
- (2) 申込方法：実践学会HP 東京大会「オンライン発表申込」による。
- (3) 申込締切日：6月1日(土)
- (4) 申込時に必要なもの  
①講演題目、②講演概要、③著者名、④所属、⑤連絡先、⑥E-mailアドレス  
⑦講演の概要を表現した画像

(5)発表申し込みフォーム

機械系	<a href="https://forms.gle/YhavDMV16zpHTeAU8">https://forms.gle/YhavDMV16zpHTeAU8</a>	
電気電子情報系	<a href="https://forms.gle/rsBJXnPBa4UufR">https://forms.gle/rsBJXnPBa4UufR</a>	
建設系	<a href="https://forms.gle/Zc8B38ByiNQLLCv96">https://forms.gle/Zc8B38ByiNQLLCv96</a>	
職業能力開発系	<a href="https://forms.gle/9UxKahStCoX91UJu7">https://forms.gle/9UxKahStCoX91UJu7</a>	

[2]講演概要の作成

- (1) 講演の概要は、200字以内で作成すること。
- (2) 講演概要集では、「講演概要集の完成イメージ」のように印刷されるので、分かりやすい文章で表現すること。
- (3) ローマ数字 (II, VII) , 丸付き数字, 罫線, 特殊な組み合わせの記号 (ml, kg, (株) ) , 自分で作成した外字, 組文字, 半角カタカナ, 丸文字などは使用しないこと。

[3]予稿原稿および講演概要集用画像ファイルの投稿規定

- (1) 提出期限：6月15日(土)  
「予稿原稿 (PDF) 」と「講演概要集用画像ファイル1枚 (JPGまたはGIF) 」の提出
- (2) 講演の概要を表現した画像(およそ500Kバイト以下)1枚を作成し、(8)で示すアドレスへ送付すること (発表する系によって送付先が異なります) .

【画像の詳細】

- 講演概要集に掲載されるので、わかりやすい図を準備すること。JPG形式あるいはGIF形式の画像ファイルを作成する。
  - 縦横比が横4対縦3の横長の画像 (印刷時のサイズ80mm×60mm) を作成すること。中に文字を含める場合、印刷したとき10pt以上になるように。なお送付された画像は運営委員会で拡大縮小の処理を行う。また概要集は白黒印刷で、印刷される画像の品質は保証しかねるのでご承知おき願いたい。
- (3) 予稿原稿の提出方法とファイルフォーマット  
PDFファイルによる原稿のみ。(8)で示すアドレスへ送付すること (発表する系によって送付先が異なります) .

(4) 執筆要領

- ① 予稿原稿作成にあたっては実践学会HP埼玉大会よりWord版書式をダウンロードして作成すること。Word以外のソフトで作成する著者は、PDF版の書式にしたがうこと。
- ② 提出された予稿原稿はそのまま予稿集に掲載するので、著者自身が責任をもって確認のこと

(5)執筆枚数 A4版 2枚 2段組（規定の書式フォーマットによる。書式は実践学会HP埼玉大会よりダウンロードすること）

(6) PDFファイル作成上の注意事項

- ① 予稿原稿ファイルはPDF原稿のみ受付ける。それ以外の原稿ファイルは一切受けけない。
- ② ファイル容量は5MB以下とする。

(7) PDFファイル作成手順

運営委員会では例年予稿原稿の確認作業に多大な時間を要しているため、予稿原稿の変更を折り返し依頼することがないよう、下記の手順にしたがってPDFファイルを作成するようご協力をお願いしたい。

- ① PDFファイル作成ソフトを準備すること。
- ② PDFファイルにはセキュリティを設定しないこと。
- ③ PDFファイルを紙に印刷し、十分な画質であることを確認すること。予稿原稿の画質を落とし過ぎないように、著者自身で必ず確認すること。
- ④ 印刷した予稿原稿で上下左右の余白を必ず確認すること。

（上：18mm，下：20mm，左右：20mm）

(8)予稿原稿および講演概要集用画像ファイルの提出先

発表する系によって送付先が異なるので注意すること。

- |          |                           |             |
|----------|---------------------------|-------------|
| ①機 械 系   | jissen.kikai03@gmail.com  | (職業大 中村宛)   |
| ②電気電子情報系 | jissen.denki@gmail.com    | (調整中)       |
| ③建設系     | jissen.kensetsu@gmail.com | (東北能開大 佐藤宛) |
| ④職業能力開発系 | jissen.noukai@gmail.com   | (職業大 原宛)    |

## 7 予稿原稿の審査

### [1] 審査の目的

研究発表会の趣旨に合致しているかどうかを判定することを目的とする。  
あくまでも「趣旨に合致しているかどうか」をみるものであり、専門的、技術的、考え方等の内容に手を加えるものではない。

### [2] 審査の方法

研究発表会運営委員会が審査を行う。

### [3] 審査後の依頼

審査の結果、趣旨に合致しない場合には、修正等について発表申込者と相談する。

## 8 その他

### [1] 発表会に関する問い合わせ先

(一社) 実践教育訓練学会

〒185-0021 東京都文京区大塚5-3-13 ユニゾ小石川アーバンビル4F学会支援機構内

TEL 03-5981-6011 FAX 03-5981-6012 E-mail jissen@asas-mail.jp

### [2] 宿泊について

発表者（発表会参加者を含む）の宿泊については、運営委員会および実践埼玉「研究発表会係」では予約等宿泊に関する取り扱いはしない。

### 【参考】 投稿のためのチェックリスト

- オンラインによる発表申し込みをしましたか。
- 発表する系は間違いありませんか。
- 講演概要（200字以内）を作成しましたか。
- 講演概要集用の画像を1枚準備しましたか。
- 講演概要集用の画像は完成イメージのように使えます。文字などは見やすいですか。
- 予稿原稿はPDFファイルですか。
- 予稿原稿の書式は正しいですか。（2段組）
- 予稿原稿のPDFファイルは「セキュリティなし」ですか。

機械系

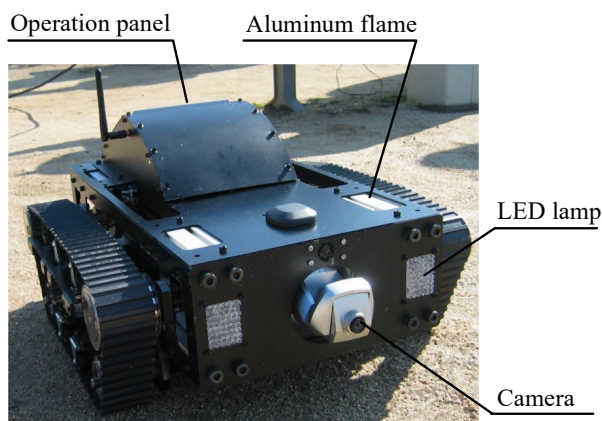
1 日目・第A室 午後 計測・制御・ロボット

A-1	13:00-13:20
-----	-------------

クローラ型移動機構を有する移動ロボット実験用プラットフォームの開発

○実践太郎<sup>\*1</sup>, 職業花子<sup>\*2</sup>

現在行われている位置制御やナビゲーションの研究条件は、閉空間や特定条件下で行うことを目的としており、実環境におけるナビゲーションは研究例が少なく、また確立された手法は未だに提案されていない。そこで著者らは実環境でナビゲーション実験や研究開発を行えるための移動ロボットプラットフォームを開発した。本報においては、開発した移動ロボット実験用プラットフォームの技術要素と将来展望について述べる。



所属：\*1 職業能力開発総合大学校東京校 応用課程 生産機械システム技術科  
(〒187-0035東京都小平市小川西町2-32-1)

\*2 中国能力開発大学校 応用課程 生産機械システム技術科

E-mail : jtaro@jissen.or.jp

1 日目・第A室 午後 計測・制御・ロボット

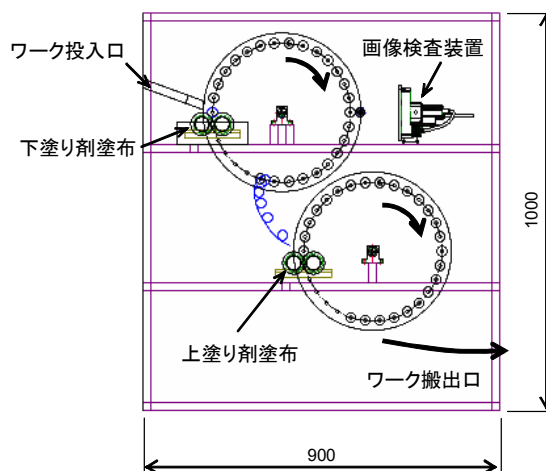
A-2	13:20-13:40
-----	-------------

ゴムローラパイプの接着剤塗布検査装置の開発

○教育次郎

本課題は、エンジンマウントや足回りの金属部品を製造しているA社より、ゴムブッシュと金属の接着剤塗布製造工程の簡略化に関する技術相談をもとに取り組んだ。製造工程の簡略化は保守・管理や製造スピードに大きな影響を与え、コストダウンの大きな原動力となるため期待も大きい。

本報では我々が提案した装置について、仕様・機能について述べるとともに、工程簡略化の一手法について示す。



所属：\*1 附属千葉職業能力開発短期大学校 専門課程 制御技術科  
(〒260-0025 千葉県千葉市中央区間屋町2-251)

E-mail : kyoiku@jissen.or.jp